



CoMADOの経緯

CoMADOは2023年度に日本財団が全国を対象に取り組んでいる「子ども第三の居場所」事業の助成を受け、白井市・まどかこどもレグル並びにまどか幼稚園・日本財団が連携し、学校でも家庭でもない子どもの居場所として開設準備をはじめました。

子ども第三の居場所事業として、学校でも家庭でもない子ども達の居場所を作り、分け隔てなく子ども達をあたたく迎え入れ、教育や食育、様々な体験の拠点や、人と繋がる場として、地域の方々と共に子ども達を守り育てていくことを目指す施設として、2024年6月に運営を開始しました。

CoMADOの目的

- ・児童が学校でも家庭でもない居場所の中で、人との繋がりや他者に認められる感覚を得て、自己肯定感を育み、自身が抱える課題解決の糸口や心の安らぎを見つける。
- ・保護者との信頼関係も作れるよう努め、子育てしやすい地域を作る。
- ・地域と連携し、多世代交流の場、地域の新たな魅力創出の場として、子ども第三の居場所事業を起点とした広がりのある地域コミュニティの構築を目指す。

運営体制と協力機関

運営主体：まどかこどもレグル（R5～日本財団の助成により開設・運営）

三者協定：白井市 日本財団（R5～子ども第三の居場所事業の開設運営に連携して取り組むことを約束）

※まどか幼稚園（レグルの母体 2021年以前は学童保育ratoonはまどか幼稚園のもと運営）

協力機関：白井市（子育て支援課・市民活動支援課・保育課・環境課）・白井市教育委員会
清水口自治会・子ども食堂や学習支援の運営団体・環境フォーラム実行委員会
子どもの支援に関わる施設や団体・市民活動団体 近隣住民の皆さん等

背景：白井市の子育て環境について

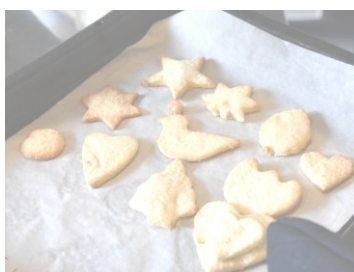
- ・共働き世帯の増加
- ・宅地開発が進む地域では公立の学童利用率が90%以上
（特に清水口小学校は市内の中でも学童の需要に対して定員が少ない）
- ・子育て仲間との付き合いは機会が限られ、軽易になりやすくなっている
- ・子育てに関する情報提供のほか、地域での交流を増やすことが課題となっている
- ・心身の健やかな成長には父母だけでなく子育て家庭同士や地域の人々による支えあいも重要
- ・体験・学習機会の提供など、家庭や子どもの状況に応じた様々な居場所作りが求められている

運営 一般社団法人まどかこどもレグル
住所 白井市清水口3-22-1
メール comado.info@gmail.com
電話 090-6365-6946（CoMADO） 047-707-2973（代表）



Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION



開室日時

週3日 火・水・木曜日 14:30～17:00 ※長期休み期間は変動あり

CoMADOでできること

1階から2階までの階段が図書スペースになっているので、階段にベンチのように座って好きな本を見つけて読書をしたり、自分の本を用意してきても大丈夫です。

日によって、きせつによって食育や行事活動を行います。

今後、少しずつ活動の幅を広げ、多くの人が楽しめるような企画も考えています。

おもちゃやゲームはありません、走ったり動き回することはできませんが、大人も子どももゆっくりのんびり自分のペースで過ごせる場所づくりを目指しています。

地域の皆様と一緒に子ども達を見守り、繋がりを育ていけるように、

子ども達が様々な人と出会い、つながり、見守られながら成長してほしいと願っています。

子どもの居場所 開室中の様子



CoMADO その他の活動の様子



きせつのイベント（かき氷屋さん）

つばめ食堂（食育食堂）

てとてとサロン（ハンドセラピー）